



メルマガ「GPN 地元国際通信 Vol.19」(2018/8/31 発行)

発行運営 一般社団法人グローバル・プロフェッショナル・ネットワーク

～地元国際！～地元企業を世界へいざなう国際専門家集団を形成するネットワーク！

[URL] <http://www.gpnjapan.com/> [代表 MAIL] info@gpnjapan.com

◎本メールマガジンは、GPN 会員、及び、名刺交換をさせて頂いた皆様に、当会からのお知らせや企業の海外進出・国際税務に関する最新情報をお届けするニュース配信です。

メールマガジンの解除、及び、配信アドレス変更をご希望の方は、本メールにご返信頂くか、GPN WEB サイトの「お問い合わせ」フォームよりご連絡下さい。⇒ <http://www.gpnjapan.com/>

◎ ご意見・ご感想などございましたら、下記までお願いします。⇒ info@gpnjapan.com

I N D E X

>>> **新連載 シリーズ！～ GPN 海外視察研修時に訪問させて頂いた企業のご紹介**

■ 海外で活躍する日本企業 <第 2 回>

－ Nagata Myanmar Co., Ltd (長田広告)

※ Back Number 過去に配信させて頂きましたメルマガを掲載しています。

下記よりご覧下さい。

<詳細> ⇒ <http://www.gpnjapan.com/gpntimes/index.html>

>>> **注目情報**

■ Annual Report of Statistics on Japanese Nationals Overseas

～海外在留邦人数調査統計(外務省領事局政策課)」より

>>> **お知らせ**

■ 海外視察研修旅行(第 4 回中国)開催の御案内

■ 会員募集中！！～会員種別・協会費について

■ 友人紹介制度のお知らせ～入会金免除！

■ 「海外展開&国際税務に関する課題・質問にお答えします！」



GPN

Global Professional Network

■ 海外で活躍する日本企業 <第2回>

ー Nagata Myanmar Co., Ltd (長田広告)

長田広告の1日は、ラジオ体操で始まる。

朝 8 時半、お邪魔させていたたき、最初に始めたのがラジオ体操、あのNHKでやっているあれです。10 数名の従業員の方々と一緒になりやりました。何十年振りに。

続いて始まったのが、朝礼です。しかも日本語で。長田広告ミャンマーでの公用語は、日本語だそうです。この日は火曜日ですが、休日明けでしたので、まず先週の報告、今週の予定、連絡事項、依頼事項、一人一人が発言してゆきます。契約獲得の報告もあれば、みんなで拍手。

ここで、御了解を得て、従業員(ほとんどミャンマーの方)にインタビューいたしました。

Q:通勤は？

A:バス・タクシー・徒歩が、ほぼ同数。

Q:日本語はどこで？

A:日本語学校及び日本での居住経験ありが、半数づつ位。

所長が日本語しか話せないから日本語話せる人だけ雇っている。

Q:NAGATA 印刷のいいところ？

A:……、あと給与がいい。

Q:日系企業で苦勞していること？

A:日本語

苦勞していない……。

Q:勤務時間は？

A:8 時半から 6 時半(昼休み 1 時間)。6 時でエアコン切れてしまう(延長 1 時間 50ドル)ため、基本的に残業無し。

最後に所長の白石氏より、夢を実現する今日の一言 「変人とは、世界を変える人。」

【長田広告株式会社:会社概要】

創立 昭和 38 年

平成 26 年ミャンマーに進出

所在地 愛知県津島市

資本金 1,000 万円

従業員数 688 名(平成 27 年 5 月現在)

事業内容 屋外広告事業、交通広告事業等

<https://ad-nagata.com/index.html>

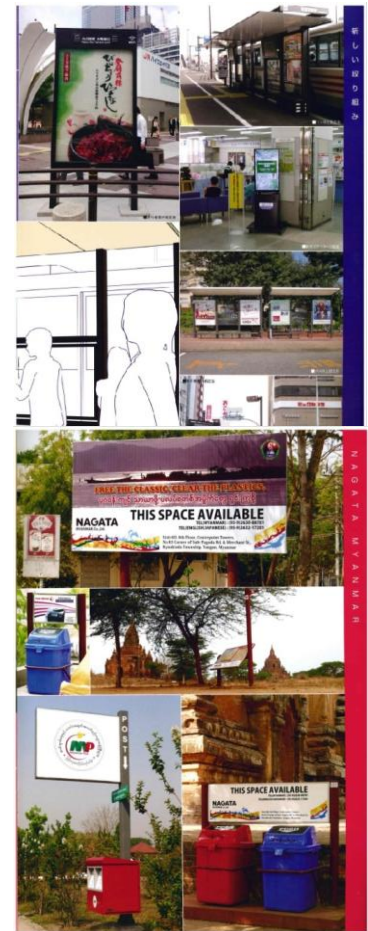
ロードサイド、駅、バス停、集合施設などにあるいわゆる看板広告をメインの事業にされている会社です。多分皆様も何度も目にされているはずです。全国に73営業所を置き、中小企業を中心としたクライアントは、3万社にも及ぶそうです。

平成19年の横浜市との取引を契機に、機器を寄付して行政情報を発信すると同時にそれに顧客の商業広告を載せるというビジネスモデルを確立した行政広告のパイオニアであります。

今ミャンマーで取り組まれているのは、国に予算が少ないので、広告を付けたインフラ整備事業に取り組まれています。

マンダレー(ミャンマー第二の都市 人口200万人)で780ヶ所のごみ箱を新設し、その上に広告掲載個所をつくり、広告を集められています。このごみ箱は、バゴン遺跡にも、アーナンダー遺跡にも設置されています。今度行かれたら、ただのごみ箱と思わず、この記事を思い出してみてください。きっと感慨深いものでしょう。

日本の総務省のODAの一環事業として、日本のポストを(ミャンマーの現在のポストでは、雨期に対応は難しい)ミャンマーに配置し、インフラ広告を展開する話があり、動いたが、結果的に調整がうまく行かず、独自で展開されたそうです。



ミャンマーの行政関係者ともよく話をするそうです。そこでは、ドミネーションを通じてミャンマーに貢献することを考えている。ミャンマーを発展させる心で仕事を進めていく方針だそうです。両者が協力して、両方で利益になればよいと言われていました。

正直、広告業と聞いていたものの、IT広告などのもっと違ったものを、想像していました。いわゆる看板事業は、単に地主の了解を得て、看板をたてるだけのものと思っていましたが、進化し、ベースにインフラ整備を置いて、結果的に社会コストを引き下げ、独り言ですが、行政がするよりもいっそう目線が利用者に近づき、利用しやすい情報を提供して、会社も利益を挙げるといふビジネスモデルが在るのを知ったのは、ミャンマーに来たお陰と思っています。

このモデルは、開発途上になる国にぴったりのモデルで、だから来られたのかと聞くと、個人的(空手)人脈があったからだけだそうです。元々長田広告様は、徐々に周辺へ事業活動を広げてゆくのではなく、愛知で大きくなった時、次は東北へ進出するといった進出戦略をとる会社だったそうです。

海外に進出したのも、日本国内の経済が成長を期待しがたくなるのが予想される中、次の成長の拠点を作るため、海外進出を決め、たまたま、個人的人脈でミャンマーにきめたそうです。

失礼にも係らず、儲かっていますかと聞くと「まだまだ」だそうです。

ミャンマーでは、住居費・事務所費が非常に高騰しており(レオパレスの項参照)固定費が高く、黒字化にはもう少し時間が必要だと笑って答えてくれました。

海外進出する企業は、安い人件費をあてにした労働集約型製造業、クールジャパンを意識した小売業・サービス業などだけと思いがちですが、普通に日本にある企業が、そこへ少し知恵を加えた

だけで、新しいビジネスプランとして海外展開できるようにということを教えていただきました。

ウチは、海外進出は無理と思われる方も、もうひとひねりで次のステージに勧められるのではないか。成長がそう望めない日本から成長著しい海外へ。

以上

2017年3月28日

執筆 公認会計士・税理士 長友 滋尊



>>> 注目ニュース

■ Annual Report of Statistics on Japanese Nationals Overseas
 ～海外在留邦人数調査統計(外務省領事局政策課)より

○現在、海外に進出している日本企業の総数は、71,820 拠点となっており、過去最多となっています(2016年10月時点)。

内訳としては、現地法人企業が約50%の35,831拠点、本邦企業が約7.1%の5,121拠点、現地法人化されているか否かが不明な企業(区分不明)が約43%の3,868拠点となっています。過去5年間で約18%の増加となっており、右肩上がりの状況です。

地域別では、アジアへの進出が日系進出企業全体の69.2%(49,673拠点)であり、次いで、北米が12.8%(9,225拠点)、西欧が8.1%(5,810拠点)となっています。

進出国別ランキングは次のとおりです。

進出国	拠点数
中国	32,313
アメリカ	8,422
インド	4,590
ドイツ	1,811
インドネシア	1,810
タイ	1,783
ベトナム	1,687
フィリピン	1,440
マレーシア	1,362
台湾	1,152

<参考・引用> Annual Report of Statistics on Japanese Nationals Overseas
 海外在留邦人数調査統計(平成29年要約版) 外務省領事局政策課
 → <https://www.mofa.go.jp/mofaj/>

以上

>>> お知らせ

■ 地元国際 海外視察研修 開催の御案内 ～中堅企業の海外視察旅行(第4回 中国「大連」編)

中堅企業、及び、同支援機関の皆様方と共に成長を目指す一般社団法人 GPN(地元国際)では、海外展開企業支援の一貫として「中堅企業の海外視察旅行(第4回 中国「大連」編)」を開催致します。

現地では、日系会計、法律事務所との懇談、日系進出企業訪問、及び、現地の観光資源の視察も計画しています。海外展開企業、及び、海外展開企業を支援されている方々(金融機関、土業の先生、コンサルティング会社等)へ有用な情報を御提供できるものと考えております。

この機会に、是非、御参加頂きたくお願い申し上げます。多数のお申し込みをお待ちしております。

● 開催概要

1. 日時 2018(平成30)年11月22日(木)～11月25日(日) 3泊4日
2. 定員 20名程度(最低催行10名)
3. 行程 別紙「海外視察旅行(第4回 中国「大連」編)の日程表(行程)」参照
4. 訪問先 中国 大連
5. 旅行代金 お一人様あたり ¥180,000円(2名1室)

★ 旅行代金に含まれているもの

- ・航空運賃 別紙日程表に記載された区間の団体航空運賃(エコノミークラス航空運賃)
- ・宿泊料金 大連における宿泊料金:3泊(2人1室にてご利用)
- ・食事料金 日程表記載のもの(朝食3回、昼食1回、夕食3回 ※機内食は除く)
- ・観光料金 別紙日程表に記載された各地の市内観光の専用のバス、ガイド料
- ・利用交通機関の料金 別紙日程表に記載された団体行動中の乗物料金
- ・団体行動中の料金 チップ・税金並びにサービス料
- ・手荷物料金 お一人様一個(規定範囲内)
- ・現地空港税・燃油 約6,900円(平成30年5月15日現在)、現地TAX・航空保険:1,900円
- ・燃油サーチャージ 5,000円
- ・空港施設利用料 成田国際空港施設利用料:2,610円、注:関西国際空港施設利用料:3,040円、
- ・渡航手続取扱等 出入国書類作成代行・バゲジタグ・旅行案内状作成送付、成田空港アゲンド業務
- ★ オプション(別途料金)
- ・ビジネスクラス追加料金 成田・関西空港共に:49,000円 ※予約と同時に発券。払い戻し不可。
- ・部屋のシングルユース シャングリホテル大連:36,000円 or ホテルニッコウ大連:26,000円(3泊)
※参加人数により宿泊先ホテルが異なります。申込締切後に最終決定。

※ 申込締切 2018(平成30)年10月1日

【申込方法】 別紙「参加申込書」又は GPN WEB サイトよりお申し込み下さい。
⇒ <http://www.gpnjapan.com>

※ なお、お申し込み多数の場合は先着順(入金確認が出来た方順)とさせていただきます。

<申込方法> 「(1)エントリー」→「(2)参加費納入」の2ステップ!

(1)エントリー 別紙「参加申込書」又は GPN WEB サイトの TOP、左メニュー「資料請求・各種申請」をクリックし、必要事項を記載の上、「2. ご用件」→「海外視察申込」を選択、参加人数を自由記入欄へ記載願います。*参加費用のお支払いは銀行口座振込のみとなります。

<GPN WEB URL> <http://www.gpnjapan.com>

(2)納入方法 次の口座へお振込み願います。

<みずほ銀行> 銀座中央支店(店番125) 普通 口座番号 1332491
口座名義 シャ) グローバルプロフェッショナルネットワーク

主 催 一般社団法人 グローバル・プロフェッショナル・ネットワーク

～地元国際～地元企業を世界へいざなう、国際専門家集団を形成するネットワーク!

<GPN サポートデスク> 〒272-0034 千葉県市川市市川 1-12-22 市川サークルビル 6F

TEL 047-712-5531 FAX 047-712-5532 E-Mail(代表) info@gpnjapan.com URL <http://www.gpnjapan.com>



■ 会員募集中！！～会員種別・協会費について

○当会は2014年6月に、新たな使命を担う税理士、公認会計士などの士業者が中心となって設立されました。国際専門家集団を形成するネットワークを構築し、地元中小企業を世界へ誘い、我が国の経済の発展に貢献するための事業を行っています。会員の皆様から御支援頂く会費は、海外へ展開していこうとするSAMURAI日本の企業および企業戦士の方々への支援活動に活用させていただきます。

何卒、本事業の趣旨に御賛同頂き、当会へ御参加下さいますよう、お願い申し上げます。

【会員種別・協会費】

- (1) 正会員 ・社員総会に参加し、議決権を有する方。GPNの活動に関し、財務的支援、及び、運営に関して関与する方。
 <費用> 入会金 10,000 円 会費 5,000 円/月 (60,000 円/年)
- (2) 準会員 ・下記の会員の権利を有する方。
 <費用> 入会金 5,000 円 会費 1,500 円/月 (18,000 円/年)
- (3) 賛助会員 ・当法人の目的に賛同し、財政的支援を提供する方。
 <1口> 10,000 円
 個人の方 1口以上
 団体・企業の方 10口以上

※入会金については、会員となっている者からの推薦を受けた場合には免除されます。

【会員の皆様へのサービス内容】

会員の権利	会員の種別	正会員	準会員	賛助会員
(1) 定款第 12 条に定める議決権の行使		○	—	—
(2) GPNが運営する外部への発信媒体での紹介 ex: WEB サイト・メルマガでの掲載		○	○	—
(3) GPNの活動に関するサポートの收受 ex: 海外展開企業への支援(個別相談・国外パートナー紹介等)		○	○	○
(4) GPNが主催する事業および催事への参加 ex: 海外視察研修ツアー、講演会・セミナー優先割引受講、 会員誌・メールマガジン購読		○	○	○

【注意】 ①入会を申請する者は、定款にしたがい、所定の入会申請の手続き、及び、指定決済機関による入金の確認をもって行うものとします。
 ②契約期間は、入会手続きが完了した翌日より起算して1年間とします。但し、期間満了日の2ヶ月前迄に、会員より所定の退会申込書が提出され、経営執行委員会が退会の申し入れを受理した場合を除き、契約期間は1年間延長され、その後も同様とします。
 ③契約期間中に中途退会する場合は、その理由の如何を問わず、払い込まれた会費等の返金は行わないものとします。また、協会費の未払分、及び、残債務全額を支払うものとします。
 ④会員の資格喪失、その他の詳細は定款、及び、利用規約に記載されています。必ず、ご一読下さい。

<お問合せ> ⇒ <http://www.gpnjapan.com/>

■ 友人紹介制度のお知らせ～入会金免除！

○皆様のまわりに、海外進出をご計画の経営者様、又は、海外展開案件の相談を受けている税理士・公認会計士等の士業者の方はいらっしゃいませんか？ ご紹介頂いた方が GPN に入会された場合、入会金免除の上、GPN が懇切丁寧にバックアップさせていただきます。

次の事項をご記入の上、本メールにご返信頂くか、GPN WEB サイト「お問合せ」フォームより、ご連絡頂きたいようお願い申し上げます。

<友人紹介>

- 組織・団体名称
- 姓 名
- ご住所
- 電話番号
- E-Mail

<お問合せ> ⇒ <http://www.gpnjapan.com/>

■ 「海外展開&国際税務に関する課題・質問にお答えします！」

○GPNは中小専門家事務所の国際社会での競争力を強化し、既存、及び、潜在クライアントの国際化のサポートを行う組織を、日本の中小専門家事務所と共同して、日系専門家事務所のネットワークです。

<募集>現在、海外進出をご計画されている企業の顧問をされていらっしゃる税理士、公認会計士の皆様の課題や国際税務に関する質問にお答えします。お気軽に、下記までお問合せ下さい。

<お問合せ> ⇒ <http://www.gpnjapan.com/>

発行運営団体のご案内

○本メルマガは、個人情報保護ポリシーに基づいて配信されています。

詳しくは下記のページをご参照ください。

・プライバシーポリシー ⇒ <http://gpnjapan.com/notice/policy.html>

○本メールは日本国内向けの情報です。本メールの掲載情報や資料の掲載には、適宜、更新、追加をする等、細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の内容は、更新時期などにより変化する事があり、一切保証するものではありません。

○本メールの再配信、記載内容の無断転載・転用・編集はご遠慮ください。

○ご意見・ご感想などございましたら、下記までお願いします。

<GPN カスタマーセンター／メールサービスデスク>

〒272-0034 千葉県市川市市川 1-12-22 市川サークルビル 6 階

[TEL] 047-712-5531 [FAX] 047-712-5532 [代表 E-Mail] info@gpnjapan.com

[Mail Desk] gpn@gpnjapan.com [URL] <http://www.gpnjapan.com>

営業時間：月～金(10:00～18:00、祝日・年末年始を除く)

<発行運営>

一般社団法人グローバル・プロフェッショナル・ネットワーク

～ 地元国際！～地元企業を世界へいざなう国際専門家集団を形成するネットワーク！！

Copyright 2016 Global Professional Network All Rights Reserved.

